

農稼業叢

三

内閣文庫			和書
八三函	一〇〇冊	三〇〇號	類

大政官文庫			和書
一〇冊	二〇〇函	二〇〇冊	門

内閣文庫		
番號	和	11100
冊數	10	(3)
函號	183	63

耕種



A 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





農稼業吏上之卷附録

兒島如水編録

農人常々心得の事

①

凡農人の質素実業と申して、固に此制禁を

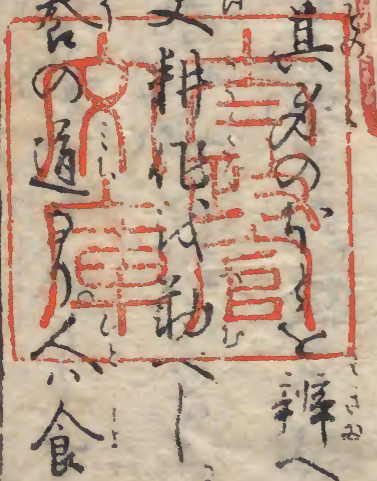
犯すと農業怠ること、衣食を院を以て

にみそくも、その上、其の

正直と申して、天の意と文耕作

吏耕作の政の根本、民生の道

食



農稼業吏 上巻附録

三

なるし命ふしあつちにあつちなる人いんのいん農業と下げ賦ふとして
 いふいちあるあるもみみたた人じん世よおおつつハ
 第一だいいちのいん農業とととてよ又また穀こくをいん
 貴き後ごもも生せい養やうととななるる比ひ故こ一いの
 聖せい王わう賢けん君くん農のう業ぎやうととななるる氏しとといいふふををまま
 一いつ支し田でんとと作さくるる比ひ一いつ國こくをを飢うとと受うくく一いつ歩ぽ
 のの田でんははももちち切きくく稼か穡さくととままききりりやや
 一いつ百ひゃく穀こくととししるるとと天てんががりりももととままりりハハ地ちががりり

人も天てんの時ときおおたりり地ちのの利りとと考かうくく時ときはは耕かう種しゆは
 勤しん一いつ。爰えんににおおいいちち其その地ち氣き候こう方ほう角かく内ないのの氣
 運うん小せう後ごよりより多たくくいいるる比ひ天てんの時ときをを交かう枝しををい
 國こく々々同時どうじなりりるるもも風ふうぬぬ霜そう雪せつ早そう水すい異い寒かん
 温うん冷れいおおののくくややかかひひたたりり竹ちやく木ぼく美みめめるる同どう
 ききりりななりり故こふふをを時ときとと知ちるるはは野ののの竹ちやく庭ていのの樹じゆ
 かなかなりりくくのの海うみももおおののがが田でん畑へはは目めあありりとと
 公こう差さええりり寒かん氣きののややままりりととななるる

必疑とせど。春氷解後和氣と得る
 耕し。又秋ハヤ耕し。陽也。地中ハヤ
 人とて。其ハ秋ハ多ク。去冬ハ其
 乾と殊小相。朝日ハ昇。後場を
 うけ耕し。扱去の耕ハもよつて
 物半ても。又秋ハ白背と結。勞
 とも。畦のうも。白く干る。附かく。

子ハ耕し。日北くハ二三日。日ハ合せか。こころと
 のなり。九月ハ。陽氣多。晴る
 耕し。去の干。附かく。又
 得。中。耕し。麦田。地
 日。風。中。土。白く干る。地。培
 又。麦。附。泥。田。濕。水
 水。干。田。干。其
 干。田。能

干つたに雨を待つかこころをて。也ト
 水田源田の熟陸気つまき田ハ恒初も天陽
 と文を耕とより干田とるる。さいつまよおまど
 始終日おあつち中に必無ト。又水田ハ水の干
 るるに冬よりまきあはたけ無く。ま暖
 たり耕と。又月地より入の深くりたる
 中。日新法に再三耕ト干せと糞と入糞おほひ
 とかこころに水と入かこころにト。
但個々の水入かこころは
 猶古法に依りて

三
 水とちりけりたる。塊もはつたれく糞と
 土と和合し。土と熟し。苗はさそ入す
 たり。又麦跡を麦を刈り土と干し。時あは
 ちりけりたる。並て候う。え代とかべト
 一耕作を勤る。先我身上の制限と結し。り。
 過化をさし肝要なり。田島をふるぬまき耕ト
 候るも。時おほくも。修理届と

農家

上巻附録

三

糞と用うるを井一のよけめを。取實の多む
 うふまぐ。よけめ糞は集高へるはま
 とぐ。先上糞より干弱油糟の乾干物人糞ホ
 かり其外牛馬のき糞焼糞泥糞草糞の
 糞又雜糞よとくもるも。糞もやめての物ぐら
 木の系枯葉の類道ふとる竹履草鞋又家
 にも電の灰日焼土湯浴の垢け洗濯の湯水物
 夕洗ふ米の糠も。魚鳥の骨も洗ふ水

糞あを掃ふふむるを。よけめ糞は集高へるはま
 いろくどを合もき入べ。け外中一の品多し。
 糞も扱ふきふい糞とるも。糞と力小にせ
 我田の分量も多くと集高へるはま。作ぬふり
 ち地ふり。時分と考へるはま。糞は集高へるはま
 ぶ。作ぬふり。糞は集高へるはま。糞は集高へるはま
 用い。陰陽気調へるはま。糞は集高へるはま。糞は集高へるはま
 能かるも。糞は集高へるはま。糞は集高へるはま。糞は集高へるはま

肥料を多く。豊作はゆると目筋のこらなり。
 帯に魚糞とるべきぬい妻く集能分が
 用べし。又腐地小腐糞と用ふる。若くは急勢
 なり。人糞は魚どく肥一の基とるべし。又水糞
 を穀田と用ふる。志けり気くして晴天ふとる
 べし。他人よく知るなり。又菜園の弱きものよ
 細雨の中にとどく。度ふる中よ水糞とく
 糞の気流く益なり。凡水糞と用ふる。

陰気のまらひうれは志けりたふ用いては志けり
 若き。殊に畑地をむしりて乾燥の
 ほらよか。若くは若日よ痛ねる。水に
 痛ものなり。たのく其れとて能く
 一物を作る。先ものもと若くもりて後作物
 の水と攪る。殊小稲を水くして。急痛や
 池堤開ぬ道。井堰算の破損あり。帯に
 保い並べし。由ひし。

水のみあーくしてハカさるるなり。又早と是氷
 うり天災かり。け時魚る農人のやもそれバ。
 勿祈るも天と恨。疎ふれども其何ぞ
 居せぬ。精とち一其ふ公と流励いる。ま
 魚あぬき溝地とさーびーび。海深く
 あむさよけき。地ちや乾く作れ小銀と生
 世に。又林あふもさくあくあ小徳多
 一と道橋は来よれ中を無。疎ふ作れ文まうるがす。
 櫻掬トとるよ橋人をもこれ陰はのゆりなり

九

一作約一程小かさるる思し。たふぞ早稲
 魚あも中柄よく。中柄不作とも晚稲に
 みるゆり。いろくと作さ。魚下と穀作と作り
 並に若天災にりよも。其中ふ利とゆり
 作さへ入るる。然るるさー

但て又田畑も一反りも。存じても。そそけらひい
 づれと。ふらふ。いろくと作さ。魚下と穀作と作り
 作りゆり。いろくと作さ。魚下と穀作と作り
 作りゆり。いろくと作さ。魚下と穀作と作り
 作りゆり。いろくと作さ。魚下と穀作と作り

⑩

一 其地之恒く集るゆなりとて地ふわりぬめを
 志わく恒く保もまゝにふるり。これ性により
 相懸不お懸いりしう。いし地之懸どくき
 一の辰考。兎角利分の賭ふと恒く一。
 且つ所よりうごめを地取より種子はおれ法
 とおし心とをよしとて作ぶうりるり

⑪

一 畑地特殊之菜園の附りのまきよ附一。
 附るるの其日乾とよし又苗その福
 移る是より後より一恒く後日乾わきぎ
 うり苗いむりり

⑫

一 畑地之恒く子と附る。古切の靴るまきばに
 わしも地念う。恒く種子と下と一。種子
 かりいし。も心とらて。しうらに。合と
 入るまき。又冠とせと一。

⑬

一 所地の。ぬふ。りもあま。田圃も
 う。ほど。深く。耕し。ふる。と。力の。及び。塊る。地

ぬけふり葉なる時より盛むるまで
ふりかき。又陰毛まきりく葉も根と生じ。
魚トて化也の實入よりび

一年中服く絶るる時をく化也と稱次
服くの際穢ふとく。且穀也次くハ
本綿麻苧美とく。貴族膚とかくと衣服の
はくはくしてかきかき。ゆるし。おのく。手に
ぬすく。ちんちん。と化ぶき幸なり

一 苧も也とわく。避く。結実のうは約て苧も
るし。まきれ。ゆふよりハ陰晴とえ合せ。
大風霖雨の考肝要なり。殊に綿を苧旬
糸く。は。時。も。由。新。く。急。ぎ。苧。を。一。時。の
変。へ。く。天。災。の。き。が。一

一 早稲中稲苧も。跡をく。以。耕。一。
と。乾。し。麦。の。時。と。約。べ。一。又。麦。地。の。外。も。杖。の
耕。一。の。美。徳。を。多。く。し。も。性。つ。た。と。子。を。ま。き

農家業書 上巻附録

けのどねに取の栲別の女と出さる人なほけん。修
 理の由とて諸作もなまめく。よに百姓の後の
 貧窮とまりよ代も瘠地と変。終るは田地と
 あまゆるし。先を分よ及がたに作ぬる穀の
 いづらぬと撰更へ作り或いそむ地ふらいる益樹
 うらぬ極を分際とてか子とよく十分小耕作
 と勤へ。多く作りひろげも入らざるよりいかに
 愈しく修理の由らば和實却て多く利を夫ふ

甲より又宗地よりも利とて貢の物とる。バ
 村富後とて人家も之て修ふ。繁昌とて凡そ
 家の柳のより家治却よおよび。又終のよりお
 家業よとる。が偏よ我人の痛う。ゆとてよ
 益とる。よき深切ふをと背へ

（五）

一秋より又月まで一切の修理も。雨降しとて
 久に損う。殊ふ去のよ入のなをきり。氣のよ
 とも魚し。ちよく乾とてとて。又明日助

万ふ心無年々解ふと富く。不収の年と補ひを
 外ふ意のゆとるをく。猶農よと業ととる人
 天の恵と仰さる。農業に力と投ち心と励せ玉
 め人。作人ふよりてくして魚年ととるはよ
 遠ふ若悪のかよりみく。耕し稼るのみ必時
 ぢらま。地と地のかと通とつたど。武を怠り
 勤しむ。我術は拙と却て勤は地と天災
 心と作ると。乞百姓の申意もい人。諭は彼は地
 とが。くとも踏つて。版立罵る。くこととれば
 欲はむ。若し拙とあ。又働よければ
 其時不遠ひ。若た。若も。又骨折苦勞とさせ
 とも。功を。と。成。は
 しく。ま。の。平。の
 の。大。小。の。最。に。打。ち。上
 益。の。弊。と。禁。す。其。年。に。候。と。考。す。地。の。若。悪。種子の

心と作ると。乞百姓の申意もい人。諭は彼は地
 とが。くとも踏つて。版立罵る。くこととれば
 欲はむ。若し拙とあ。又働よければ
 其時不遠ひ。若た。若も。又骨折苦勞とさせ
 とも。功を。と。成。は
 しく。ま。の。平。の
 の。大。小。の。最。に。打。ち。上
 益。の。弊。と。禁。す。其。年。に。候。と。考。す。地。の。若。悪。種子の

